

キャリアを活かしたエキスパートへ

平成31年度

富山大学経済学研究科では 社会人の学生を募集しています。

■募集人員

地域経済政策専攻 6名
企業経営専攻 12名

■選抜方法

一般入試 —— 論文(出願時提出)*
及び口述試験

*「経済学研究科で研究したい課題に関するテーマ」
(5,000字程度、ただし、英文の場合は2,000words程度)

■入試日程

出願期間 平成30年8月20日(月)～24日(金)
試験日 平成30年9月11日(火)
合格発表日 平成30年9月26日(水)

■進学説明会

開催日時 平成30年7月11日(水) 19:30より
平成30年7月12日(木) 12:10より
(2回とも説明内容は同一です)

会場 富山大学経済学部 209 演習室(両日とも)

■募集要項の請求方法

学生募集要項を郵送で請求する場合は、封筒のオモテに「大学院経済学研究科学生募集要項請求」と朱書き、返信用封筒(角形2号封筒に受信先の住所、氏名及び郵便番号を明記し、速達郵便切手530円を貼付したもの)を同封のうえ、請求してください。

本研究科では、社会人の方々が履修しやすいよう、昼間の授業のほか、夜間(18時10分～)にも授業を開講しています。また2年間分の授業料で、在学年数を最大4年間に延長し、計画的に履修を行う長期履修制度があります。





修了生のメッセージ

経済学研究科へ進学しようとしたきっかけ

富山県内の中小企業にて管理部門として働いており、経営層とも距離が近く、経営分析を行い提言し、そして社内に浸透させる役割を担っています。専門商社として卸売業を営んでいますが、昨今の環境変化からビジネスモデルの変革が必要と考え始め、また強い組織を作るための手法を学びたいと思い経済学研究科に進学しました。

経済学研究科で学んだこと

経営戦略論と人的資源管理論を専攻しました。日々の仕事をこなしながらの通学であり4年間の履修制度を活用しました。夜間や土曜開催の講座を主体に、可能な限り、労働法、管理会計、組織論などの専攻外分野にも貪欲に受講しました。時間をかけて幅広く知識を得ることができたことは大変、有益でした。

しかしながら、自分にとって何よりも成長できたのはゼミナールです。入学当初は「手法(知識)を学びたい」でしたが、手法を知るだけでは実践に活かせません。ゼミではロジカルシンキングを鍛えることができました。ゼミでは「問題点は何か?」を常に問われ、発表する際には「図式化による説明」を求められました。ロジカルに整理できていないと図式化できないのです。ゼミナールでの指摘は、刺激的で、頭脳がフル回転し4時間のゼミがなんと短く感じました。この鍛錬が今に生きています。修士論文の作成も、入学当初は手間としか受け止められませんでした。書き上げてみれば、あれがロジカルシンキングを試す集大成です。良い経験をさせていただけましたし、自信になっています。

経済学研究科で学んだことをその後どのように活かしているか

ロジカルシンキングは日々の業務すべてにおいて生きています。例えば外部環境・内部資源を分析する SWOT 分析の手法を知っていても、それをロジカルに分析し展開できなければ、結局は利益を稼ぐことには繋がりません。

問題点は何か、問題点を解消するための対策(仮説)は何か、対策を施すための手法は何を用いて検証すべきか。経営戦略を考える時、事業計画・年度計画を策定する時、部下の行動管理(PDCA 管理)の精度を上げる時、そして自身の業務を遂行する時に役立てることができていると感じています。

2015年修了生